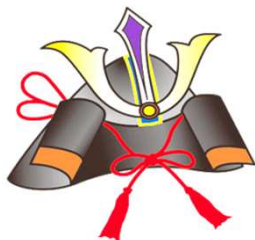


くい文化センターだより 高原のそよ風

TEL(0847)32-7138
FAX(0847)32-8406



主催講座開講式ご案内

和太鼓叩いて健康づくり

- ・開講日 5月11日(火)
- ・時間 13:30~15:30
- ・持参物 タオル・筆記用具・水分補給飲料

クラフトあらかると

- ・開講日 5月14日(金)
- ・時間 9:30~11:30
- ・持参物 ハサミ・洗濯バサミ・ボンドなど

レザークラフト入門

- ・開講日 5月19日(水)
- ・時間 13:30~15:30
- ・持参物 レザー用具・ものさし・筆記用具

伝統の和に親しもう(型絵染・水引・古布)

- ・開講日 5月27日(木)
- ・時間 13:30~15:30
- ・持参物 シャープペンシル・カッター板
カッター・型絵染用具など

講座共通

- ・回数:年/10回
- ・受講料:年額2,000円
- ・材料費:別途必要



問い合わせ先

くい文化センター
(0847)32-7138

「久井の辻堂を訪ねて写真展」

久井町内の辻堂26宇の写真を展示しています。この機会にぜひご覧ください。



豊かな里山のシンボル

久井の学び ヒョウモンモドキ



【ヒョウモンモドを守る2】～年に3回の保全活動が必要～

秋の作業: 9月~11月 湿地の管理

- 湿地内の草刈りを行い、翌春に活動を再開する幼虫のためにキセルアザミを展葉させる。
- 新しい産卵可能場所(キセルアザミの群生地)を増やす。
- ノアザミの手入れも合わせて行う。



◆作業内容:

- ①湿地の草刈りを行って、草を湿地外に持ち出す(幼虫が確認された位置から直径2m以内は残す。)
- ②キセルアザミの生長を促すために、耕運機をつかって溝を作るなど、湿地内に水の流れを創出する。
- ③ノアザミの生える場所で夏に続いてもう一度草刈りを行う。ノアザミの囲いや補植をこの時期に行っても良い。

◆時期: 9月~11月までが理想。それより早いと産卵位置が確定しておらず、幼虫の巣を踏み潰す可能性がある。また遅いと草の栄養分が地中の根に戻ってしまうため、草刈りの効果が減少する。

◆注意点: 幼虫のいる場所から直径2m以内に入らないこと。誤って立ち入らないように、作業開始時にピンク色の目印テープなどで囲いを仮設する。

久井図書館から

*お話し会 5月22日(土) 13時30分~13時50分
手話と絵本の読み語り
「しゅわしゅわ村のどうぶつたち」

*休館日のお知らせ
毎週火曜日と祝日
3日、4日、5日、11日、18日、25日



【くい文化センター職員異動のお知らせ】

4月1日付けで、加藤に代わりまして境井が着任いたしました。引き続きよろしくお願い致します。